
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2009年第10週
(3月2日～3月8日)

- * 2009年3月11日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況を
16頁に掲載しています。

平成21(2009)年3月12日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2009年10週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		7週	8週	9週	10週		10週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	72	76	63	69	646	282	3948
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
	鳥インフルエンザ (H5N1) **							
三類	コレラ						1	2
	細菌性赤痢		1	4	2	10	8	31
	腸管出血性大腸菌感染症		3	2		7	16	144
	腸チフス				1	2	2	4
	パラチフス				1	1	1	1
四類	E型肝炎		2			3	1	8
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎			2	1	3	1	18
	エキノコックス症					1	1	4
	黄熱							
	オウム病							1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病	1				2	1	34
	デング熱			1	1	5	2	17
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱							2
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア	1	2	1		7	1	14
野兔病								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	2		1	1	14	7	117	
レプトスピラ症							1	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		7週	8週	9週	10週	年累計	10週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	2	4		3	28	8	159
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	1		1	1	10	1	37
	急性脳炎 ***		2		1	7	1	58
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1				3	2	18
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1		3		18
	後天性免疫不全症候群	11	7	12	16	103	19	263
	ジアルジア症	1		2	2	9	1	11
	髄膜炎菌性髄膜炎						1	4
	先天性風しん症候群							
	梅毒	5	4	2	5	37	11	128
	破傷風					1		9
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					1	1	17
	風しん					1	3	32
麻しん	2	3	3	2	24	19	152	
2009/3/11集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** 2008年5月12日から指定された。

*** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 69件 肺結核38件、その他の結核12件、肺結核及びその他の結核2件、無症状病原体保有者14件、疑似症患者3件で、推定感染地は国内68件、国内/アフガニスタン1件。年齢は、20歳代7件、30歳代10件、40歳代7件、50歳代13件、60歳代9件、70歳代9件、80歳代10件、90歳代4件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 2件 ソンネ2件で、推定感染地はインドネシア1件、カンボディア1件、推定感染経路はともに飲食物による経口感染であった。

腸チフス 1件 推定感染地は国内、感染経路は不明であった。

パラチフス 1件 推定感染地は国内、推定感染経路は家族からの接触感染であった。

〈四類感染症〉

A型肝炎 1件 推定感染地は国内、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

デング熱 1件 推定感染地はミャンマーで、血清型は2型であった。

レジオネラ症 1件 肺炎型で、患者は40歳代男性。推定感染地は長野県で、宿泊先の入浴施設との関連が疑われている。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 3件 腸管アメーバ症2件、腸管外アメーバ症1件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路はすべて性的接触(同性間1件、異性間2件)であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型で、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触であった。

急性脳炎 1件 病原体はインフルエンザウイルスA型で、患者年齢は5歳未満であった。

後天性免疫不全症候群 16件 無症候性キャリア7件、AIDS 6件、その他3件で、推定感染地は国内11件、台湾1件、マレーシア1件、不明3件、推定感染経路は性的接触14件(同性間9件、異性間4件、性別不明1件)、不明2件であった。病型「その他」の1件で、敗血症性ショックによる死亡が報告されている。

ジアルジア症 2件 推定感染地は国内1件、フランス1件で、推定感染経路は飲食物による経口感染1件、異性間性的接触1件であった。

梅毒 5件 早期顕症梅毒 I 期1件、II 期2件、晩期顕症梅毒2件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路はすべて性的接触(同性間2件、異性間2件、性別不明1件)であった。

麻しん 2件 麻しん(検査診断例)1件、修飾麻しん(検査診断例)1件で、年齢はともに10歳代であった。麻しん含有ワクチン接種歴はともに1回であった。

定点把握対象疾患 報告数 2009年10週

定点種別	対象疾患	2009年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		7週	8週	9週	10週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	6	9	13	8	0.05	149	150
	咽頭結膜熱	32	33	30	27	0.18		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	291	274	317	372	2.50		
	感染性胃腸炎	913	1,040	1,064	1,102	7.40		
	水痘	176	183	185	181	1.21		
	手足口病	7	6	6	8	0.05		
	伝染性紅斑	30	15	16	20	0.13		
	突発性発しん	55	80	82	64	0.43		
	百日咳	2	6	4	2	0.01		
	ヘルパンギーナ	3	2	3	1	0.01		
	流行性耳下腺炎	62	64	79	73	0.49		
	不明発しん症(注1)	9	8	7	10	0.07		
	MCLS(川崎病)(注1)	3	1	1	1	0.01		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	3,013	2,183	2,585	3,327	11.63	286	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	3	2	0	0.00	38	39
	流行性角結膜炎	7	16	11	10	0.26		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	0	0	0	1	0.04	24	24
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	4	5	4	2	0.08		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	2	0	3	3	0.13		
2009/3/11集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻疹、成人麻疹は2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

・インフルエンザの定点当たり報告数は、2週連続して増加した。増加の程度としては大きくないが、都全体の注意報レベルにあり、今後の推移に注意が必要である。保健所管轄地域31か所中、警報レベルにある地域は4か所、注意報レベルにある地域は10か所であった。

・クラミジア肺炎は継続して報告されている。過去の同時期と異なる傾向のため、注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

みなと保健所管内定点医療機関

・感染性胃腸炎45名中、ロタウイルス2名。

* インフルエンザに関するコメントは13-14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2009年10週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月				6	2			2		
～11か月	5	1		43	5			29		
1歳	1	5	6	143	33	1	2	26	1	
2歳	1	4	10	102	35	1		4		
3歳		5	27	90	22	2	4	1		1
4歳		6	56	105	26		4			
5歳		3	60	80	27	1	7	1		
6歳	1	1	51	95	14		1			
7歳			51	73	6	1	2			
8歳		2	32	67	5	2				
9歳			22	35	1					
10～14歳			42	94	4			1		
15～19歳			2	18						
20～29歳			13	151	1				1	
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	8	27	372	1102	181	8	20	64	2	1
先週比	-5	-3	55	38	-4	2	4	-18	-2	-2

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月				1		
～11か月		3		15		
1歳	3	4		66		
2歳	4		1	79		
3歳	6			91		
4歳	13			187		
5歳	14			255		
6歳	14			342		
7歳	10			394		1
8歳	2	1		412		
9歳	2			312		
10～14歳	4			760		
15～19歳				93		
20～29歳	1	2		70		1
30～39歳				131		6
40～49歳				86		
50～59歳				14		2
60～69歳				16		
70～79歳				3		
80歳以上						
合計	73	10	1	3327		10
先週比	-6	3		742	-2	-1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数 【年齢階級別】 2009年10週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		1
15～19歳		1
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計		2

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2009年10週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田		1		1	1					
中央区			7	4	9			2		
みなの	1	3	3	56	2			6		
新宿区			14	37	3					
文京		1	6	10	4					
台東			10	37	7			3		
墨田区	1		5	27	3					
江東区			16	51	2		1	4		
品川区		1	10	63	4					
目黒区		1	1	15	3		1			
大田区	2	6	16	69	14	3	7	5		
世田谷			10	59	12		2	2		
渋谷区				26	6		3	3		
中野区			2	87	5					
杉並			13	60	9			1		
池袋		1	1	14	3					
北区			7	28	2			3		
荒川区		1	12	22	6	2		2		
板橋区				14	2			1		
練馬区			9	29	4			4		1
足立			2	36	5	1	1	1		
葛飾区			18	21	5		1	3		
江戸川	4	9	63	62		1	4	9		
八王子市		1	47	71	13			5	2	
西多摩			2	28	2	1		1		
南多摩			16	20	4			1		
町田			40	53	24			2		
多摩立川			4	13	2					
多摩府中		1	14	26	11			3		
多摩小平		1	24	59	7			3		
島しょ				4	7					
東京都合計	8	27	372	1,102	181	8	20	64	2	1

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】2009年10週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				15		
中央区	2			25		
みなと	1	1		81		
新宿区	1			72		
文京				31		3
台東				7		
墨田区	2			12		1
江東区	3			99		3
品川区	1			90		
目黒区				33		
大田区	4	1		107		1
世田谷	1			183		
渋谷区	1			50		
中野区	1			99		
杉並	2			204		1
池袋				68		
北区	1			80		
荒川区		2		41		
板橋区				113		
練馬区	1			110		
足立	1			57		
葛飾区		1		84		
江戸川	7			84		
八王子市	20	1		286		
西多摩	5			302		
南多摩	5			198		
町田	11	2		152		
多摩立川				111		
多摩府中			1	209		
多摩小平	3	2		311		1
島しょ				13		

東京都合計	73	10	1	3,327	-	10
-------	----	----	---	-------	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		1
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		1
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計		2
-------	--	---

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2009年10週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田		0.25		0.25	0.25					
中央区			2.33	1.33	3.00			0.67		
みなと	0.17	0.50	0.50	9.33	0.33			1.00		
新宿区			2.33	6.17	0.50					
文京		0.33	2.00	3.33	1.33					
台東			3.33	12.33	2.33			1.00		
墨田区	0.33		1.67	9.00	1.00					
江東区			4.00	12.75	0.50		0.25	1.00		
品川区		0.17	1.67	10.50	0.67					
目黒区		0.33	0.33	5.00	1.00		0.33			
大田区	0.22	0.67	1.78	7.67	1.56	0.33	0.78	0.56		
世田谷			1.25	7.38	1.50		0.25	0.25		
渋谷区				6.50	1.50		0.75	0.75		
中野区			0.33	14.50	0.83					
杉並			2.17	10.00	1.50			0.17		
池袋		0.20	0.20	2.80	0.60					
北区			1.75	7.00	0.50			0.75		
荒川区		0.50	6.00	11.00	3.00	1.00		1.00		
板橋区				2.33	0.33			0.17		
練馬区			1.80	5.80	0.80			0.80		0.20
足立			0.40	7.20	1.00	0.20	0.20	0.20		
葛飾区			6.00	7.00	1.67		0.33	1.00		
江戸川	0.80	1.80	12.60	12.40		0.20	0.80	1.80		
八王子市		0.25	11.75	17.75	3.25			1.25	0.50	
西多摩										
南多摩			4.00	5.00	1.00			0.25		
町田			10.00	13.25	6.00			0.50		
多摩立川			0.67	2.17	0.33					
多摩府中		0.10	1.40	2.60	1.10			0.30		
多摩小平		0.17	4.00	9.83	1.17			0.50		
島しょ				4.00	7.00					

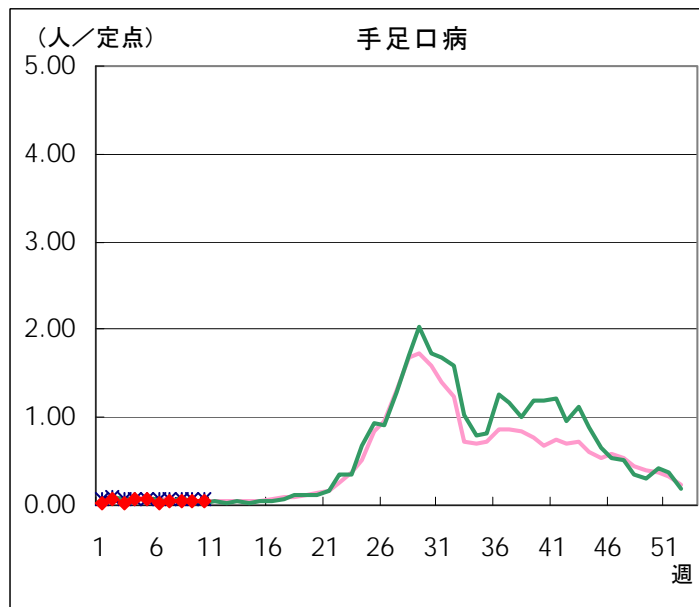
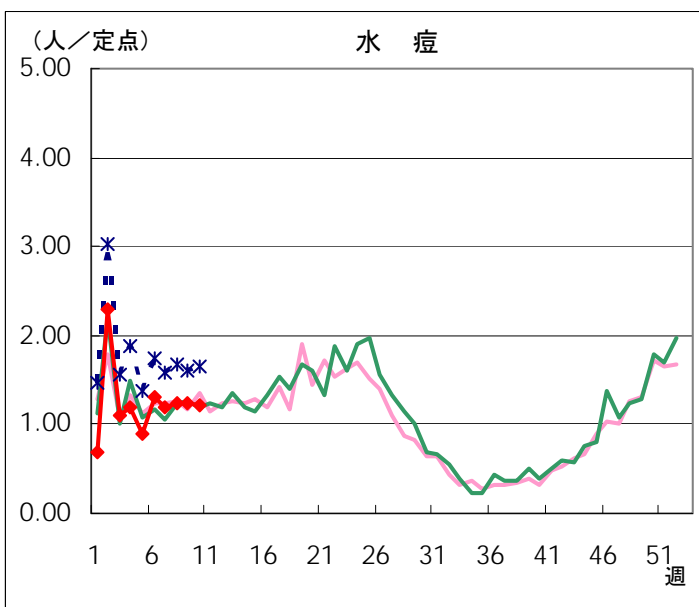
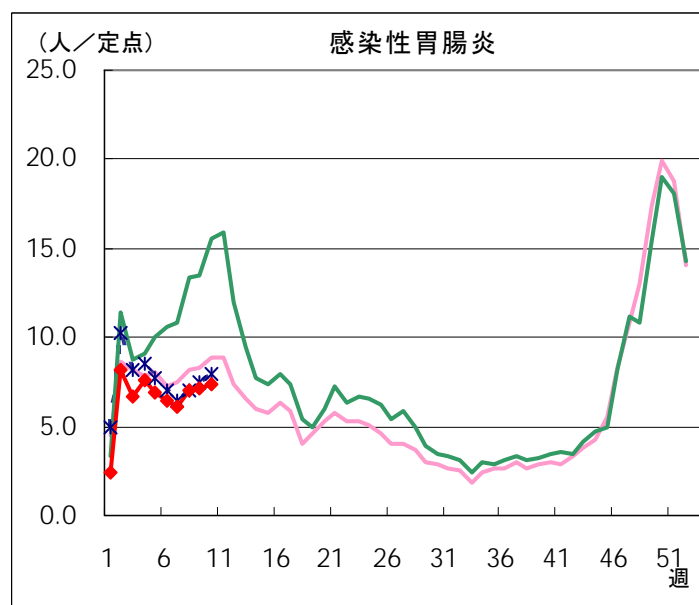
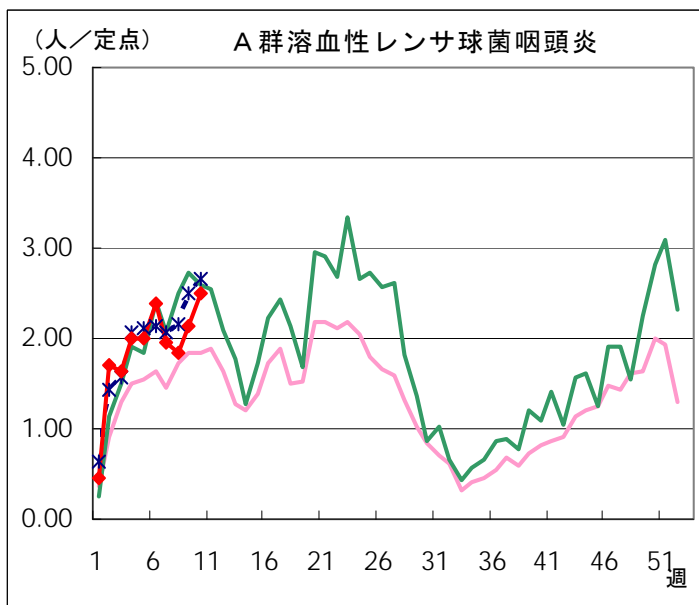
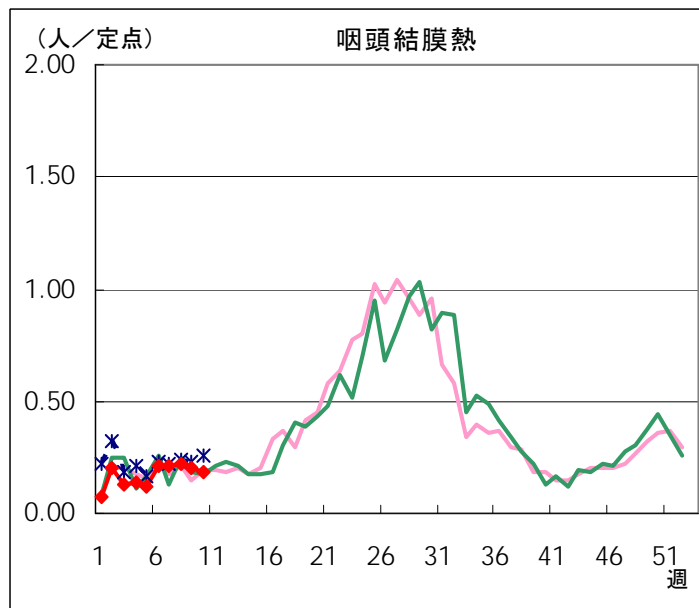
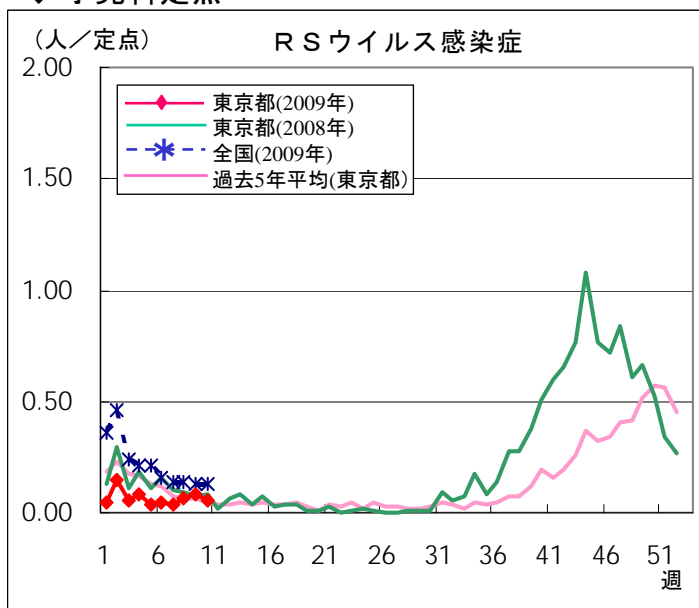
東京都	0.05	0.18	2.50	7.40	1.21	0.05	0.13	0.43	0.01	0.01
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

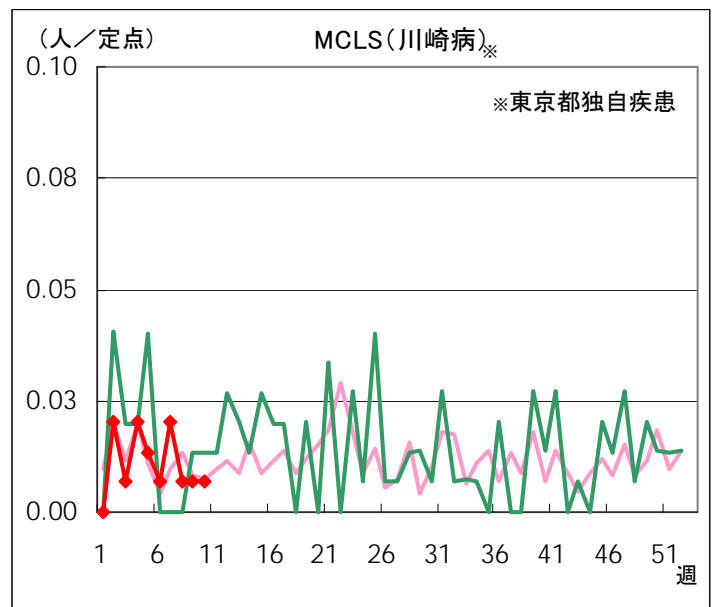
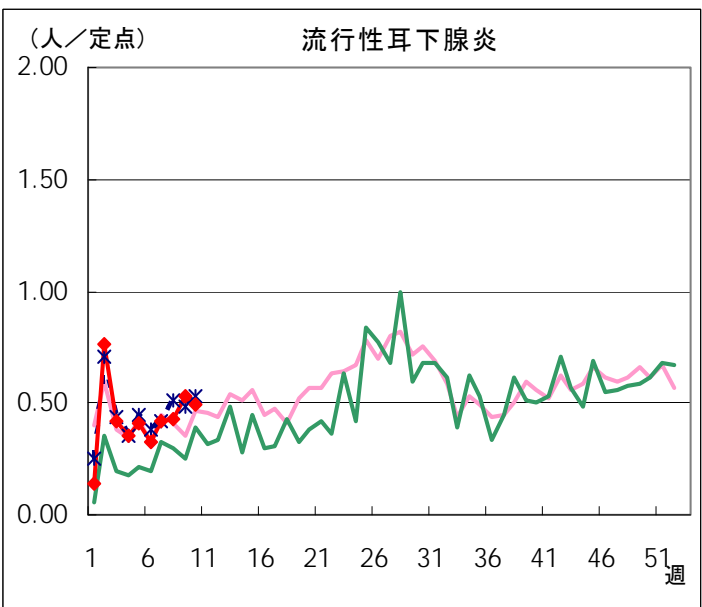
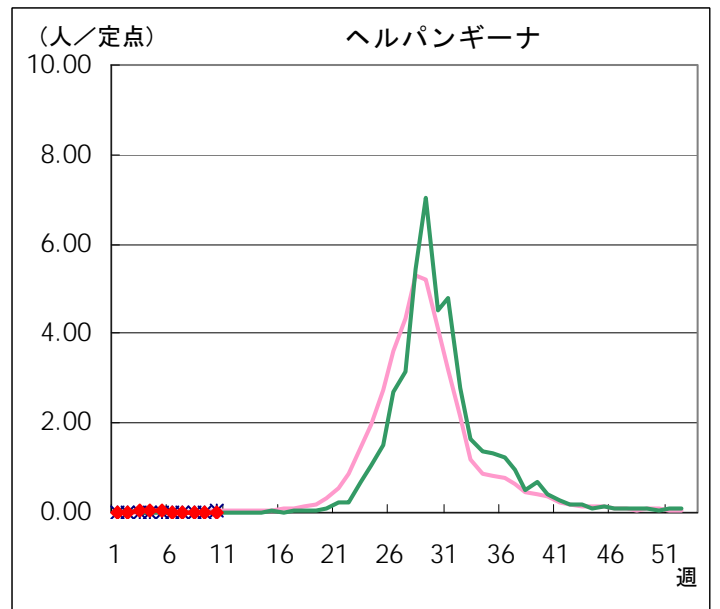
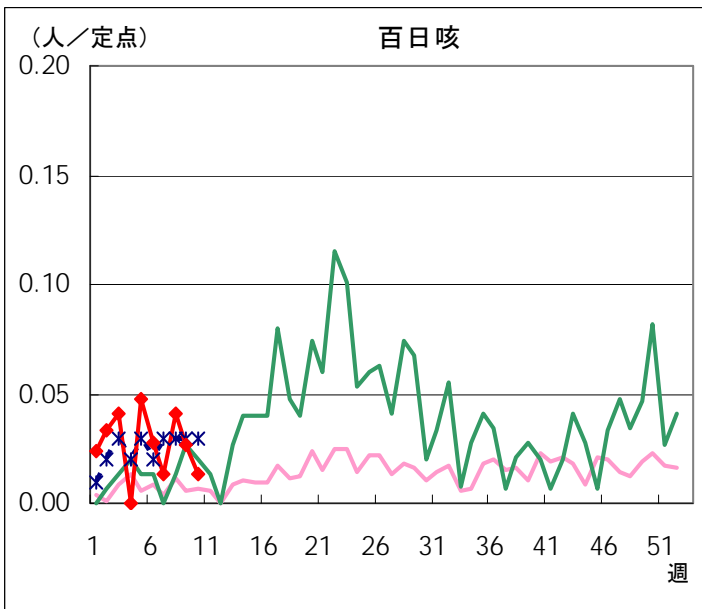
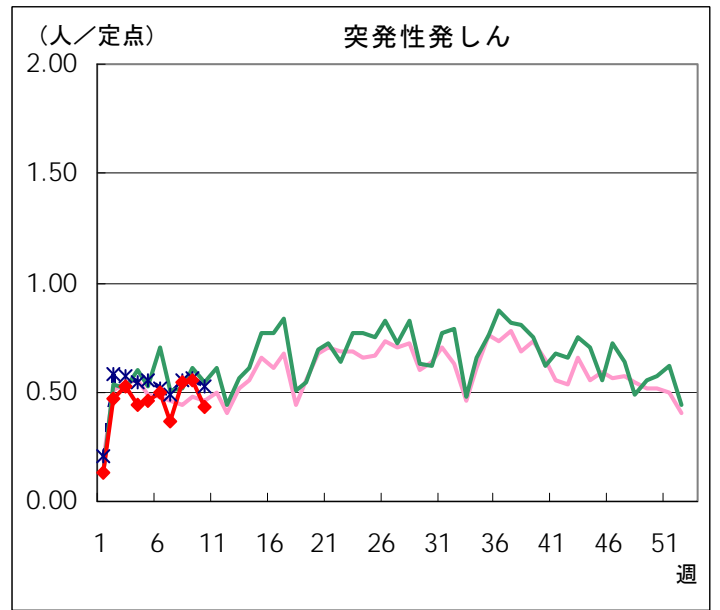
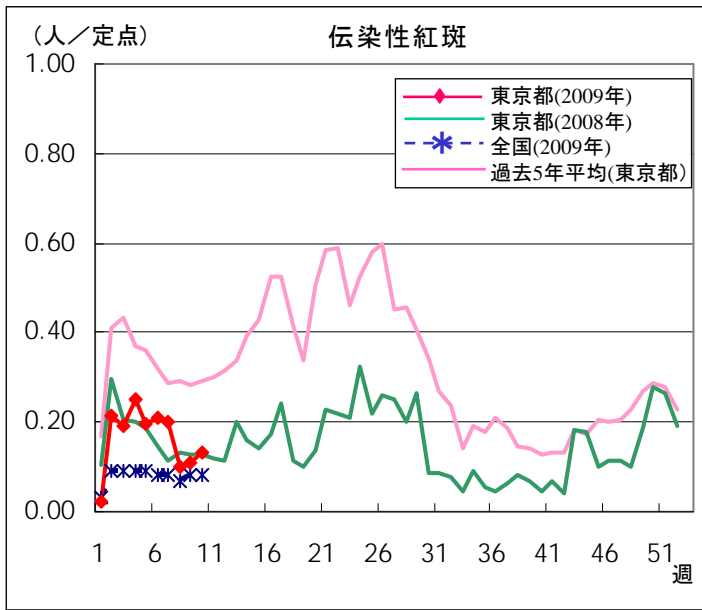
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				3.00		
中央区	0.67			6.25		
みなと	0.17	0.17		10.13		
新宿区	0.17			8.00		
文京				6.20		3.00
台東				1.40		
墨田区	0.67			2.00		1.00
江東区	0.75			11.00		3.00
品川区	0.17			9.00		
目黒区				5.50		
大田区	0.44	0.11		6.69		0.50
世田谷	0.13			12.20		
渋谷区	0.25			8.33		
中野区	0.17			11.00		
杉並	0.33			17.00		1.00
池袋				8.50		
北区	0.25			11.43		
荒川区		1.00		10.25		
板橋区				9.42		
練馬区	0.20			10.00		
足立	0.20			4.75		
葛飾区		0.33		10.50		
江戸川	1.40			7.00		
八王子市	5.00	0.25		28.60		
西多摩				33.56		
南多摩	1.25			22.00		
町田	2.75	0.50		16.89		
多摩立川				8.54		
多摩府中			0.10	9.95		
多摩小平	0.50	0.33		22.21		0.50
島しょ				6.50		

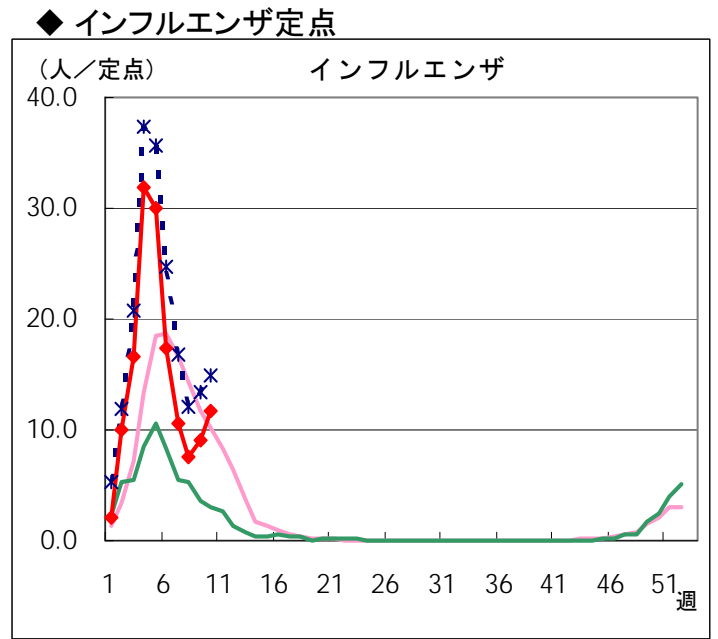
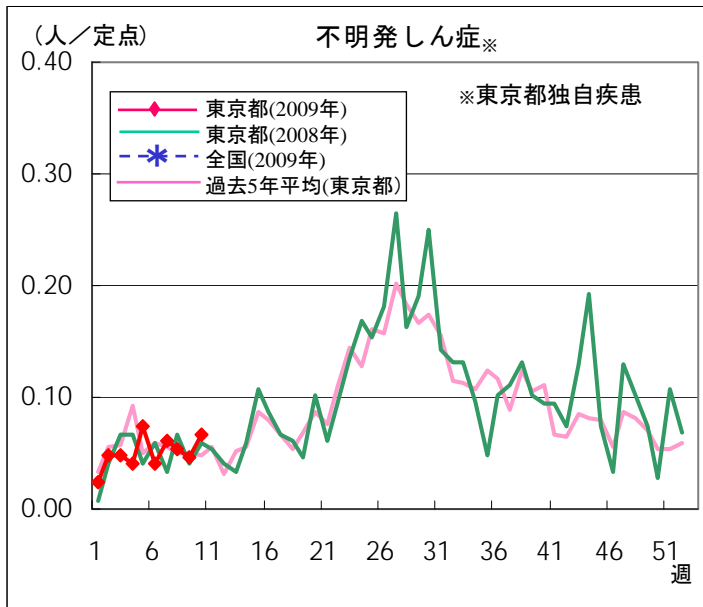
東京都	0.49	0.07	0.01	11.63	-	0.26
-----	------	------	------	-------	---	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2009年10週現在

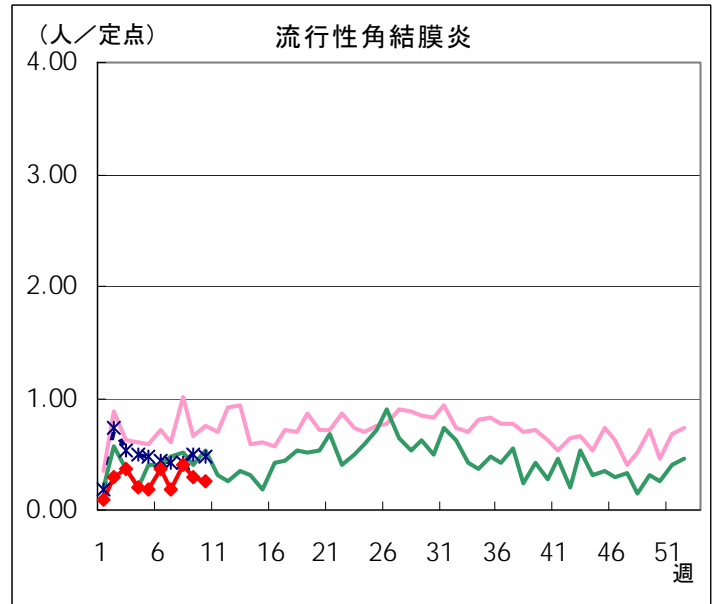
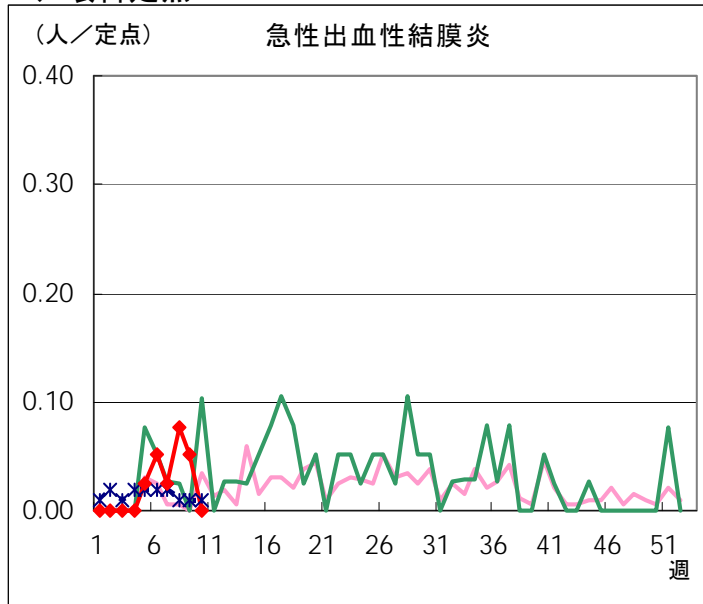
◆ 小児科定点



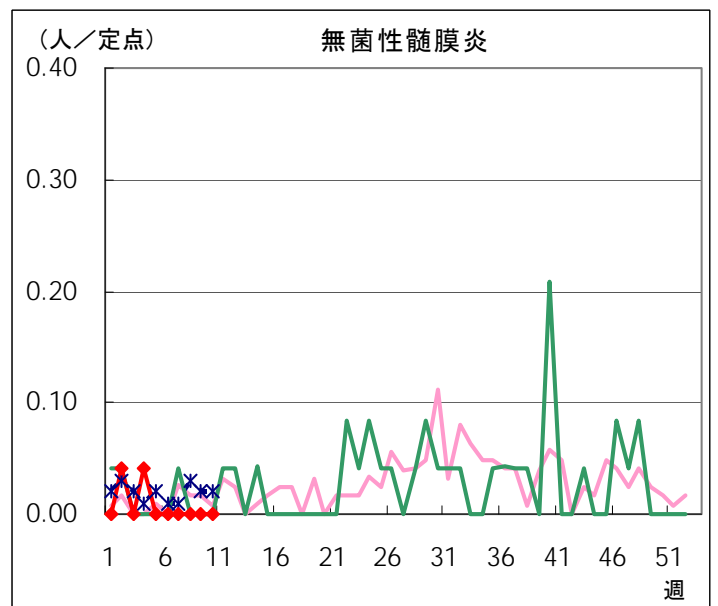
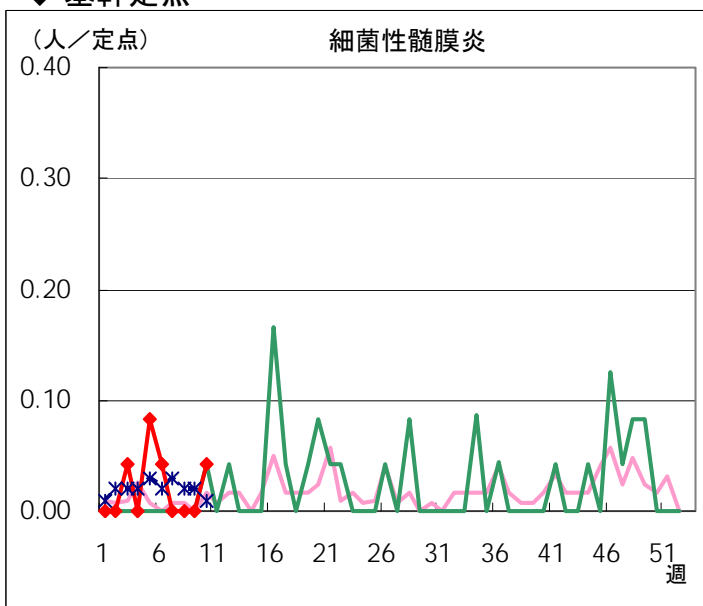


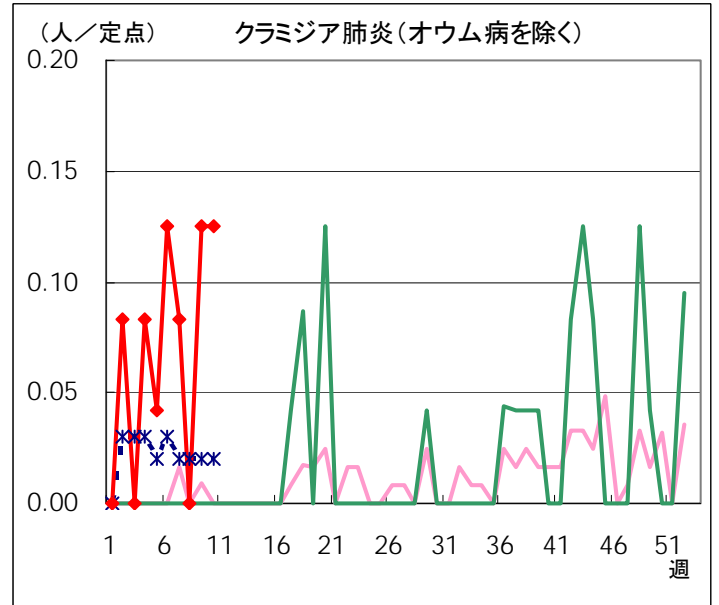
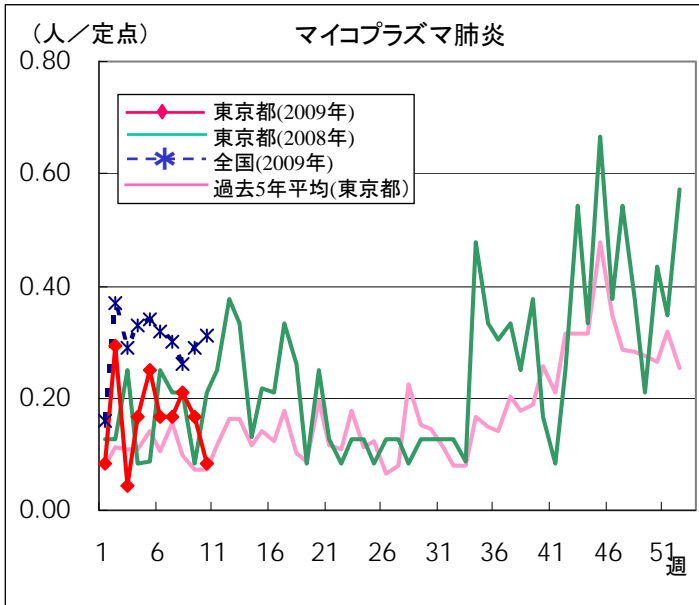


◆ 眼科定点

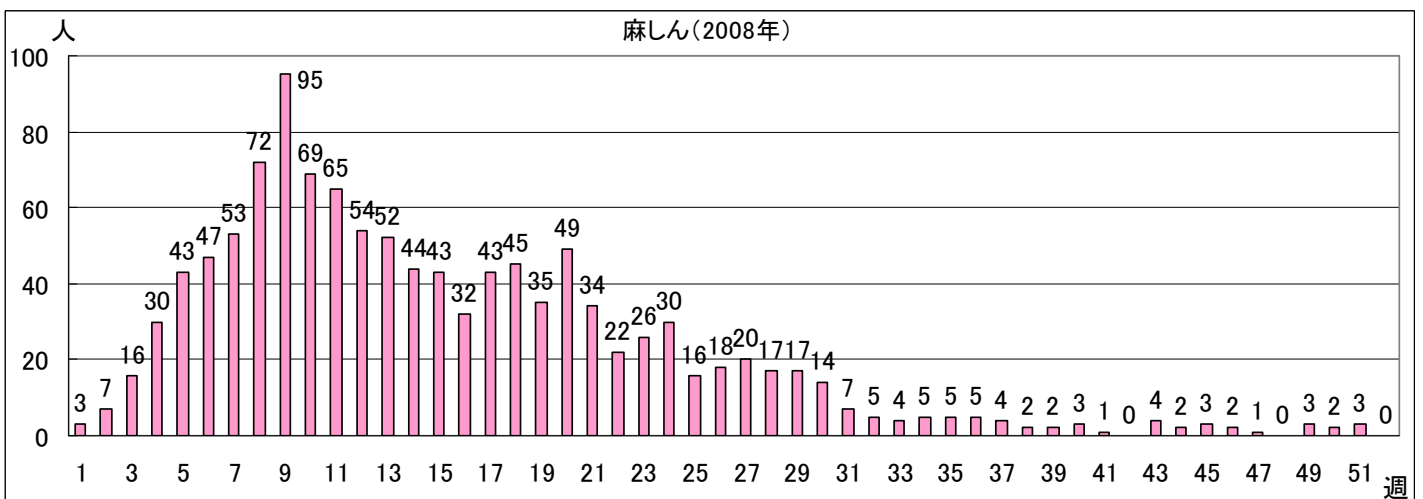
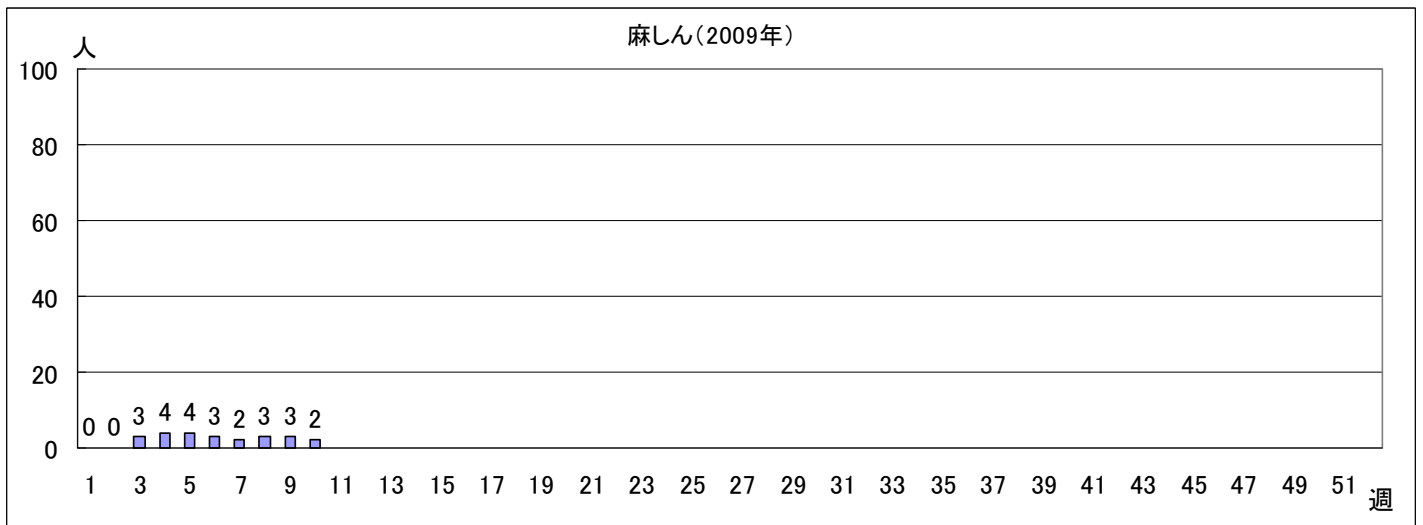


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2009年10週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果等に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと	7	5	インフルエンザB型(9歳2名、1歳・10歳・12歳各1名)、他はA型。
	3	13	
新宿区		4	
	3	15	
		9	
台東	3	2	インフルエンザB型(1歳児:1名と7歳児:1名)、他はA型。
	1	1	
文京	2	3	
江東	3	4	
	1	5	
	4	19	
		1	
	3	15	
品川区		10	
	9	26	
		2	
目黒区		7	
	2		
	2	5	7歳児、10歳児:各1名はA型、他の5名はB型。
	2	15	
大田区	7	8	
	1	9	
		2	
	11	4	
	1	3	
	1	2	
	6	21	
世田谷区		24	
		5	5名すべてB型。区内の2つの小学校で学級閉鎖続く。
		5	
		1	
	1	4	5歳1名のみA型、他全てB型。
		1	
	23	41	
		2	
渋谷区	2	20	
	1		
			37° 前後のあまり熱が上がらない症状でした。(全2名)
中野区	3	20	
		3	
		25	

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
中野区	1	6	
		10	
	1	6	
	2	6	
	3	1	
	1	9	不明1名。
池袋		3	
	3	5	
		1	
北区		37	インフルエンザB型が急増しています。全例でB型陽性でした。
	2	3	
	3	18	
			近隣の小学校2年のクラスでインフルエンザB型流行。(全10名)
		2	
			B型が多いようです。だいぶ少なくなりました。(全5名)
西多摩	2	39	
	1	1	
	5	105	
	1	8	小学校・中学校に学級閉鎖多い(ほとんどB型)
町田		3	
			ほぼB型です。(全6名)
多摩立川	1	3	B型:3名(12歳と5歳予防接種済)
		3	5名中3名はB型(10代2名・20代1名)
	4	12	
	1	2	不明2名。
多摩府中		4	
		2	
		2	嘔吐2件、B型2名。
多摩小平	1	1	
		15	
	5	35	
	5	43	
	12	57	
		10	
	2	13	
八王子市	6	41	
	6	51	
	2	1	
	3	1	
	3	4	
	14	53	
	22	58	

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
2/16	下痢、けいれん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	遺伝子
2/21	ウイルス性腸炎	1	糞便	A群ロタウイルス	抗原
2/22	脳症	8M	髄液	エンテロウイルス ムンプスウイルス EBウイルス	遺伝子
2/23	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
2/23	デング熱	60	血液	デングウイルス抗体	抗体
2/23	急性上気道炎、副鼻腔炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
2/23	ギランバレー症候群	42	髄液	アデノウイルス、EBウイルス	
2/23	咽頭結膜熱 流行性耳下腺炎	2	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
2/24	不明発しん症	7M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
2/24	上気道炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
2/25	肺炎	5	咽頭拭い液	アデノウイルス	
2/25	インフルエンザ	7	咽頭拭い液	アデノウイルス	
2/25	感染性胃腸炎	54	糞便	サポウイルス	
2/25	無菌性髄膜炎	0	血液 髄液	単純ヘルペスウイルス1型	
2/26	不明熱	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
2/27	不明発しん症	7M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型 サイトメガロウイルス	
2/27	脳炎	0	皮膚病巣	単純ヘルペスウイルス1型	

◇定点医療機関から搬入された検体の遺伝子検査法による亜型

亜型検出件数	インフルエンザウイルス		
	AH1型	AH3型	B型
9週	5	0	6
今シーズン累計	208	94	29

オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況

3/11現在

調査方法	A/H1N1分離株	耐性株
感染症発生動向調査	16	16
学級閉鎖等	18	18

詳しくは<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/>を参照下さい。

病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2009年							
		2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週
ウイルス	アデノウイルス	2	3	7	12	3	4	11	4
	ライノウイルス	4	2	2	6	4	2	2	1
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71					1			
	その他のエンテロウイルス	2	6	4	4			2	1
	単純ヘルペスウイルス		2		3		1	1	3
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	4	3	2	4	7	2	2	5
	EBウイルス	5	3	2	1			2	2
	サイトメガロウイルス	4	2	4		3		1	1
	ムンプスウイルス	3	3	1	2	2		1	2
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19			1					
	RSウイルス			1	1	1	1	1	
	ノロウイルス	2	6	2	3	1	1	5	
	ロタウイルス		1			2			1
インフルエンザウイルスAH1	18	13	29	20	59	28	12	5	
インフルエンザウイルスAH3	8	7	9	9	22	9	7		
インフルエンザウイルスB	1			2	5	4	5	6	
デングウイルス(抗体を含む)								1	
その他のウイルス							1	1	
細菌	カンピロバクター							1	
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌				1				
	溶血性レンサ球菌				1	1			
	その他の細菌	1			2	1	1		
その他の病原体			1	1	1				

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2009年2週～2009年9週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数	292	33	22	63	44	10	2	5		4	2	35	14	2	1		124	
ウ イ ル ス	アデノウイルス	16	5	3	2	1	3	3		1		1	1				10	
	ライノウイルス	2	6	2	1		2				1	1	2				6	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	2	1	1	3	1				3		1		1				6
	単純ヘルペスウイルス	1										3						6
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7		1		1					3		14	1		1			8
	EBウイルス	1				2					1	1	3					7
	サイトメガロウイルス				1	1							12					1
	ムンプスウイルス					2								10				2
	麻しんウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											1						
	RSウイルス	1	1	3														
	ノロウイルス				18													2
	ロタウイルス				4													
インフルエンザウイルスAH1	181	2															1	
インフルエンザウイルスAH3	69	1	1															
インフルエンザウイルスB	23																	
デングウイルス(抗体を含む)																	1	
その他のウイルス				2														
細 菌	カンピロバクター				1													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																1	
	溶血性レンサ球菌							1									1	
その他の細菌		3					1										1	
その他の病原体		1	1														1	